

N.G.C. 九州主幹事業 『バレエ de LED』・忘年会終了報告



講師の日高氏、進行の横山氏に舞台転換風景

平成 23 年 12 月 1 日 イムズホールに於いて、『バレエ de LED』と題して大がかりなセットを組み、バレエパフォーマンスにおける一般照明と LED 照明との違いを検証しました。(参加者 76 名)

当初はダンサーたちも出演して頂く構想でしたが、残念ながら時間と経費の都合により、マネキンに衣装を付け N.G.C. メンバーが操るという手法で行われました。ここで、N.G.C. 委員である横山剛志氏の終了報告を紹介します。



参加者たち

『バレエ de LED』が無事に終わりました。

当日参加していただいた皆様をはじめ、ご協力、ご助言をいただいた皆様、本当にありがとうございました。

N.G.C. 九州メンバーが中心になり、企画発案からはじまり、準備、打ち合わせ、当日の進行運営、出演までと通常業務と似て非なる作業を 1 年近くかけて進めてきました。メンバーが九州圏内に散らばっているのも、どこかに一同に集合して直接話し合いをするということとはなかなかできないので、メーリングリストを使っての連絡、意見交換を行なってきました。これがなかなか時間がかかる作業でした。なにか問題を投げかけて、相手の返答待ちがいつの間にか、次のテーマになってしまい、問題はそのまま解決してないことや、業務が忙しくなり音信不通になるメンバーがいたり。(原則、業務優先なのでこれを責めてはいけません)それでも、各社の LED 器材のことを聞けたのはためになりました。スローペースで進めてきましたが、本番一ヶ月前になると、シフトを調整していただき、前日や当日にイムズに出席できるメンバーの顔ぶれが決まっていき、会場入りしてからの役割も決まっていきました。



実演風景

前日の仕込みでは、講師(株)九州共立日高さん、器材提供していただいた(株)SLIの高橋さんの指揮のもと、より早く仕込むというわけではなく、ボランティアスタッフの方々とともに普段触ったことない器材を触ってみたり、曖昧なままになっている作業を教えてもらいながら進めました。その過程で、丸茂電機(株)より提供していただいたはじめて触れる LED 器材の仕込み方を



LED 機材説明、出演者紹介風景



今回使用した LED 機材の一部

教わりました。普段の現場とは違ったワークショップ的な雰囲気のできたことは有意義だったようです。その最中、自分は(株)福岡市民ホールサービス様からお借りした実際にバレエで使用しているドロップ、アーチを、間口、タッパが半分しかない会場にどう飾れば見栄えがいいのかをあれこれ試行錯誤していました。マネキンにバレエ衣裳を着せる作業は、不思議な感覚になり照れくさくドキドキしていました。きっと、他の人もそうだと思います。

その後、メンバー4名(隈元、高吉、岩田、広瀬)とボランティアで参加してくれた福岡スクールオブ

ミュージックの学生3名に、眠れる森の美女1幕ラストのシーンの配役を決めて、振り付けを日高さんの演出でつけていただきました。その成果が本番の演舞です。マネキン抱えながら5回も踊ってくれました。みんなが段々上手になっていくので驚きました。おそらく国内で初めて、フルLEDの明かりの中で人前でバレエを踊った歴史的な照明家だと思います。

メンバー塩見のLED器材の説明コーナーも、メーカーでもないのに無理言って頼んだのにも関わらず、うまく器材を使って落ち着いた説明だったので、あたふたしっぱなしの司会進行の自分は恥ずかしかったです。

残り少なくなってきたのに、一般照明がどうだった、LED照明がどうだった、と言った内容に触れていません。今回は【実験・検証】ということだったので、会場に来て直接、目にした方がそれぞれに感想を持っていただければ、と思っています。

今後も、N.G.C.九州は興味深い企画を考えていきたいと思っています。なにかやってほしい企画、こんなのどうだ話などをお持ちの方は、N.G.C.九州のメンバーになっていっしょに実現させましょう。まだまだメンバー募集中です。特に、佐賀県、長崎県の照明家さん！そうすると九州全県にネットワークが広がります。それが難しい方は、自分をはじめ身近にいるN.G.C.九州メンバーに、現場でいっしょになった時に楽屋や居酒屋で教えてください。おまちしています。

それでは、本年も引き続き、N.G.C.九州の活動への応援の程、よろしくお願いします。



N.G.C.九州委員 横山剛志



忘年会は、イムズビルにある「HAKATA ONO」で行われました。ちょっとおしゃれな店でした。今回活躍されたN.G.C.のメンバーも参加し盛り上げてもらいました。